

## 南雲 正

平成23年9月議会

**質問** 地域の人たちが学校運営に参画できる学校運営協議会の設置提案に対して、県内の教育委員会から情報の提供を受け、前向きに考えたいと答えていたが。

**結果** 湯沢学園開校に併せて、文部科学省の指定を受け湯沢学園学校運営協議会（会長 阿部道夫ほか16名）が立ち上げられ、6月5日スタートした。

平成23年12月議会

**質問** 観光の町湯沢の美しい景観を守るために、空き家の適切な管理を所有者に義務付ける条例制定の提案に対して、調査検討した中で考えていくと答えていたが。

**結果** 昨年12月議会で、湯沢町空き家等の適正管理に関する条例（平成25年12月27日施行）が制定され、勧告を受けた空き家の管理者による撤去作業も行われている。

## 佐藤 守正

平成24年3月議会

**質問** 施政方針で「これまでのバイオマスタウン構想は失敗だった」、今後は「構想を再構築するためのプロジェクトチームを編成して検討したい」と表明したが。

**結果** 産業観光課・総務課・町民課・上下水道課の班長等を中心に検討した結果、バイオマスタウン等の再生可能エネルギーの利用は多額の初期投資とランニングコストが必要になることから、起業者に対して町は支援するという立場で取り組む。

平成25年3月議会

**質問** 就学援助の申請用紙等を需給基準等の例文を含め、全児童・生徒に配布すべきとの要求に対し、考えてみたいと答弁。

**結果** 学校を通じて全児童・生徒に就学援助要領を配布するとともに、広報に2回とホームページに掲載し、小中1年生の体験入学時にも配布しました。

## 宮田 眞理子

平成25年12月議会

**質問** 企画戦略室と政策担当、諮問委員会の設置はとの質問に対し、企画戦略室は戦略的に施策を企画し推進していく、民間や中央省庁との人事交流を行い、政策担当もお願いしている

**結果** 4月から企画政策室を立ち上げた。民間や中央官庁との人事交流については様々な問題があり、引き続き検討していく。諮問委員会については、ふれあい懇談会など様々な機会を通して、多くの町民の方々の声に耳を傾けたいと考えている。

## 高橋 五輪夫

平成25年12月議会

**質問** 高等学校等のスキー修学旅行の入湯税を、近隣市町村のように非課税にすべきという質問に対し、前向きに考えると答弁。

**結果** 26年3月議会に、湯沢町入湯税条例の一部を改正する条例の制定について審議され、全員賛成で可決。条例改正し、高等学校との学校主催の教育旅行は入湯税は非課税になりました。

## 湯沢町議会の 政務活動費について

湯沢町議会の現況をお知らせします。

**金額** 湯沢町では現在、議員に活動経費の一部として月額5000円（年間60000円）が公布されます。

**使い道** 使途（対象経費）は視察研修、要請陳情活動などの交通費・個人報等の印刷・参考図書購入代金・通信費（切手代）・事務費（紙等の消耗品）など条例で定められています。

**報告** 年度終了後は収支に関する報告書を議長に提出し、4月20日頃を目途に開催される議員全員協議会において、各議員が一年間の収支報告をすることが義務付けられています。収支報告書にはいずれも「領収書（原本）」を添付し、視察研修等に充てた場合には「報告書」も添付します。

**返金** 政務活動費を全額支出しなかった場合には、残余の額を会計年度閉鎖までに返還します。

**実績** 平成25年度の全交付額は49万4195円でした。

**閲覧** 町内に居住されている方及び町内に事業所等を有する個人・法人等は議会事務局に申請すれば収支報告書の閲覧ができます。